討議資料

板橋ともゆき 市政レポート

2012 Itabashi Tomoyuki Report vol.29

平成24年度当初予算について

鳩ヶ谷市と合併して最初の予算編成であり、予算全体の規模が約3,498億円となりました。

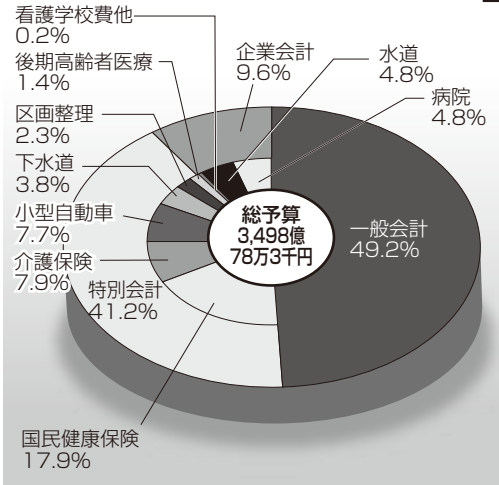
内訳は、教育、福祉、土木、消防等の基本的な経費である「一般会計」が1,719億5千万円、下水道や区画整理、国民健康保険等の「特別会計」が約1,443億4百万円、水道と病院の「企業会計」が355億4千6百万円です。

景気低迷の影響などから、引き続き生活保護などの民生費が一般会計予算の4割を超えるなど、たいへん厳しい財政状況にある中でも、新たに70歳以上の方の肺炎球菌ワクチンの助成を開始するとともに、今年10月からは中学校3年生までの医療費を無料化する等、合併効果を盛り込みながらの予算編成になっていると考えています。

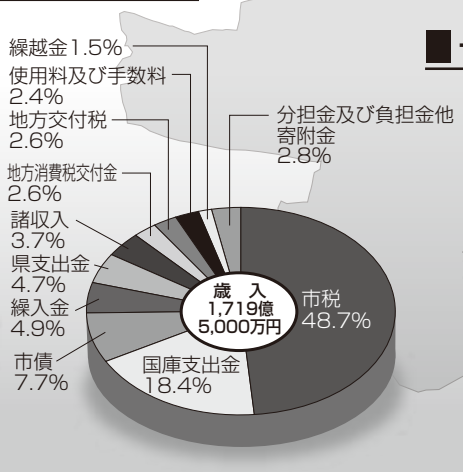
また、長年の懸案であった火葬施設の整備も、(仮称)赤山歴史自然公園の整備とともに、いよいよ具体化することとなります。更に歴史的遺産である日光御成道を、新しい川口市の一体感の醸成と市内経済の活性化に活用する予算も計上されました。

このほか、新年度から危機管理部を新設し、自然災害、放射能汚染対策からテロ対策まで一元的に対応できる組織体制とし安全・安心に配慮するなど、市民からの血税を無駄なく有効に活かし、「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と思える街づくりに向けて二元代表制の一翼を担う議会人として引き続き微力を尽くす所存であります。

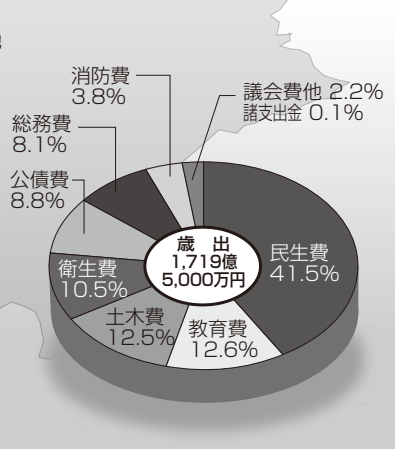
■総予算内訳



■一般会計歳入



■一般会計歳出



高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用の公費助成について

わが国の肺炎による死亡率は、がん、心疾患、脳血管疾患に次いで第4位で、特に75歳以上の肺炎による死亡率は急激に増加しております。高齢者の肺炎による死亡原因の主たるものは、肺炎球菌の感染によるものであり、高齢者への肺炎球菌ワクチン接種による予防対策が、益々重要となってきています。

そこで、本市では、市民からの要望も踏まえ、従来全額自己負担であった肺炎球菌ワクチンの接種費用について、本年4月から70歳以上の市民に対し、接種費用の一部として、3千円を新たに助成することとなりました。

この接種費用の一部助成により、ワクチン接種が促進され、肺炎による重症化や死亡の抑制に寄与するものと大いに期待をしています。

子ども医療費の助成対象年齢の拡大について

子ども医療費の助成制度について、本市では通院分医療費について小学校就学前までを助成対象としており、入院分医療費については、市の単独事業として中学3年生までを助成対象としていました。

少子化が進展する中で安心して子育てを行なっていただくための重要な経済支援策である通院分の医療費についても、本年10月から助成対象を中学3年生まで拡大して実施することとなりました。

なお、厳しい財政状況の中、財政への影響や受益と負担の公平性等を勘案し、年齢拡大の実施から1年後を目途に、所得制限及び市税や保育料等の完納要件を設けられるので市民への十分な周知を図りながら、財源の適正かつ効果的な活用を図ってもらいたものであります。

（仮称）赤山歴史自然公園及び（仮称）川口市火葬施設の整備について

赤山・新井宿地域は、豊かな自然環境に恵まれ、江戸時代に関東郡代を務めた伊奈氏の陣屋跡地が存在するなど、本市が誇る歴史文化遺産を有するとともに、赤山の枝ものや安行の植木をはじめとする本市農業の中核的な地域であります。また、近隣にはグリーンセンターや緑化センター等の観光・集客拠点があり、これらを支える道路網や埼玉高速鉄道等の交通インフラの面においても高い利便性を有しています。

そして、本市では、「（仮称）赤山歴史自然公園等検討委員会」でとりまとめられた構想を踏まえ、自然環境や歴史文化遺産を活用した、地域の振興や都市農業の活性化にも資する公園、さらには、昭和8年の市制施行以来の懸案事項であり、平成13年には、14万人を超える市民から請願書が提出された火葬施設についての計画案を策定し、昨年8月以降の地元説明会等を経て過日の2月末に

は、当該地域の約8.9ヘクタールを公園の区域として、約2.0ヘクタールを火葬施設の区域として、それぞれ、都市計画決定がなされました。

今後は、広域的な集客性の確保の観点から、隣接する首都高速道路の川口パーキングエリアと連携したハイウェイオアシスの実現に向けて関係機関と協議を行ない、地元の方々のご意見も伺いながら、地域の特性を活かした、本市の新しい顔にふさわしい公園となるよう整備を進めると同時に、多くの市民の長年の要望であった火葬施設の整備についても、水と緑に囲まれ、周辺環境と調和した施設となるように、地域の理解を得ながら取り組んでもらいたいと考えております。

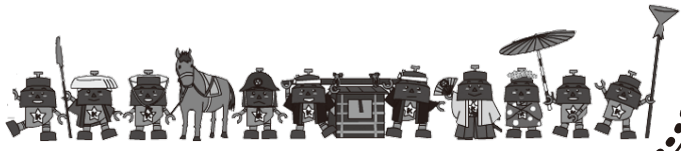
「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」について

日光御成道は、江戸時代に徳川将軍の日光東照宮への社参のために、言わば「将軍専用道」として整備された街道であり川口と鳩ヶ谷は、その宿場町として共に発展してきた歴史的経緯があります。

合併という大きな節目を経て、新川口市の更なる一体感の醸成を図るとともに、本市をより一層ＰＲするためこの歴史的財産を活かし、鳩ヶ谷市との合併１周年にあたる本年１１月に、徳川将軍の日光社参行列を再現する「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」を開催することとなりました。

そして、２月に本まつりの趣旨にご賛同いただいた皆様により「川口宿　鳩ヶ谷宿日光御成道まつり実行委員会」を設立し、新たな川口市の活性化につなげるためのスタートを切ったところです。

また、旧鳩ヶ谷市で行なわれていた「鳩ヶ谷まつり」と「商工まつり」も同時に開催し、市内外から日光御成道周辺を訪れる方々を増やすことで、市内経済の活性化を図り、人と人との交流を促進するとともに、市民の本市に対する愛着がより深められ意義深い“まつり”となることを願っております。



石御堂橋の信号機設置について

第二産業道路の石御堂橋に信号機が3月21日、新たに設置されました。これまで悲しい事故が発生する等、危険な場所であり地元本蓮町会から信号機設置に向けた要望が何年も前から出されていました。

この設置により短い距離で3ヶ所の信号機が連続することとなり自動車の運転は走行しづらくなりますが、歩行者等が安全に横断出来る事に加え、産業道路へ出入りする生活道路の選択肢が広がり交通量分散が期待できると考えております。

この設置場所から隣接した本蓮1丁目では生活道路の時速30ｋｍ規制も始まっていますので、自動車の走行には充分ご注意を頂く事をお願い申し上げます。

今後も市民の皆さんのご協力をいただきながら危険個所の整備を進め交通安全対策もしっかりと推進してくことに努めていきます。

フェイスブック
http://ja-jp.facebook.com/tomoyuki.itabashi

twitter（ツイッター）
http://twitter.com/itabashi_tomo

板橋ともゆき　プロフィール

昭和36年11月4日（丑年）　川口市東本郷生まれ
血液型：B型
こばと幼稚園　新郷小学校　東中学校
市立川口高等学校　中央工学校　卒業
資　格：宅建 2級建築士
不動産コンサルティング技能登録者
ファイナンシャルプランナー（AFP）
平成23年市議3期目当選（4118票）

市議会議員に出来る事は何なりとご相談ください！

板橋ともゆき政務調査事務所
〒334-0061　川口市新堀841番地
TEL.048-281-5246 FAX.048-285-9644
e-mail itaba-fp@sainet.or.jp

携帯でサイトへ！
各社のバーコード対応機種で
ご利用出来ます。

出前市政報告会！

板橋ともゆきは、一人でも多くの市民の皆様に市政の現状や課題をお伝えするため、出前市政報告会を行っています。「川口市政、市議会に言いたい事がある。」など、報告にとどまらず、ざっくばらんな市政について意見交換が出来ればと思っています。ご希望の方は、メールかFAXにてご連絡下さい。お待ちしています。

ご意見・ご要望を下さい！

市政全般について、板橋ともゆきについて等、どんなことでもかまいません。
ざっくばらんなご意見・ご要望をお待ちしています！

FAX

送信用紙　**048-285-9644**

◆ご意見を記入して下さい。

フリガナ
お名前

住　所　〒　　－

電話番号

FAX 048-285-9644